

2. 指標の算定根拠

○参考指標値を算出するにあたり、算出方法およびデータ取得方法を以下に示します。

参考指標 1 高齢者の公共交通利用割合 (%)	
現況値	R3：【買い物】 7% 【通院】 10%
指標の算定方法	移動手段として公共交通（路線バス・鉄道・タクシー・高速バス・NPO やタクシー会社運行のバスや乗合タクシーのうち1つ以上）を選択している人の割合
データ取得方法	住民アンケート調査

参考指標 2 高校生の公共交通利用割合 (%)	
現況値	R3：【通学】 49%（登校時）
指標の算定方法	移動手段として公共交通（路線バス・鉄道・タクシー・高速バス・NPO やタクシー会社運行のバスや乗合タクシーのうち1つ以上）を選択している人の割合
データ取得方法	高校生アンケート調査

参考指標 3 地域住民 1 人あたりの地域生活交通の利用回数 (回/月・人)	
現況値	R3： 【山古志】 1.31 回/月・人 ※小・中学校関連便を含む 【小国】 0.05 回/月・人 【和島】 0.01 回/月・人 【寺泊】 0.02 回/月・人 【栃尾】 0.02 回/月・人 【川口】 0.15 回/月・人
指標の算定方法	各路線の地域生活交通利用者数（月平均）÷各支所地域人口
データ取得方法	地域生活交通利用者数：長岡市保有の実績 人口：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

参考指標 4 高校生の公共交通利用のない自家用車送迎率 (%)	
現況値	R3：23.5%（調査対象 2178 人中 512 人）
指標の算定方法	通学（登校）時の移動手段で「家族等の送迎」（公共交通との組合せ利用者は除く）と回答した人の割合
データ取得方法	高校生アンケート調査

参考指標 5 まちなか居住区域におけるバス運行便数（便/日）	
現況値	R3（平日）：1,030 便/日
指標の算定方法	まちなか居住区域内を運行する路線バスの運行便数をカウント（平日） ※路線バスからデマンド型乗合タクシー等へ運行方法を変更した場合はそれらを考慮したカウントとする
データ取得方法	路線バス時刻表

参考指標 6 パークアンドライド用駐車場の整備割合（％）	
現況値	R3（年度）：64％（14 駅中 9 駅に整備）
指標の算定方法	整備した鉄道駅数 ÷ 長岡市内の駅数（全 14 駅） × 100
データ取得方法	長岡市保有の実績

参考指標 7 自転車ブルーラインの整備距離（km）	
現況値	R3（年度）：1.4km
指標の算定方法	整備実績より
データ取得方法	長岡市保有の実績

参考指標 8 JR 長岡駅の定期外利用者数（人/日）	
現況値	R3（年度）：2,684 人/日
指標の算定方法	実績値より
データ取得方法	JR 東日本ホームページ「各駅の乗車人員」

参考指標 9 運転士数（人）	
現況値	R3：142 人（12 月時点）
指標の算定方法	実績値より
データ取得方法	事業者へのヒアリング

参考指標 10 路線バス低床バスの導入率（％）	
現況値	R4：69.4％（4 月時点） （157 台中 109 台）
指標の算定方法	ノンステップバス保有台数 ÷ 全車両保有台数 × 100
データ取得方法	事業者へのヒアリング

参考指標 11 バス停上屋の整備数（件/年） ※町内会等へ支援した件数を含む	
現況値	R3（年度）：1 件/年
指標の算定方法	実績値より
データ取得方法	長岡市保有の実績

参考指標 12 公共交通サイトへのアクセス数（回/月）	
現況値	R3（年度）：1,472,179 回/月（平均）
指標の算定方法	アクセス実績より（現況値はながおかバスiアクセス数）
データ取得方法	事業者からの実績報告

参考指標 13 キャッシュレス決済比率（％）	
現況値	R3（年度）：12.2％（年平均）
指標の算定方法	毎月の利用実績より
データ取得方法	事業者からの実績報告

参考指標 14 新しい技術の導入に向けた勉強会の開催数（回/年）	
現況値	R3（年度）：1 回/年
指標の算定方法	実績より
データ取得方法	長岡市保有の実績

参考指標 15 市民参加の公共交通協議会・検討会等の開催数（回/年）	
現況値	R3（年度）： 【小国】 1 回 【山古志】 1 回 【川口】 1 回 【和島】 2 回 【寺泊】 4 回
指標の算定方法	実績より
データ取得方法	長岡市保有の実績